

災害時の水の確保「生活と水」 秦野盆地湧水群非常時活用マップ作成



2010 防災教育チャレンジプランワークショップ
有明の丘基幹的広域防災拠点施設



秦野市の 自然条件

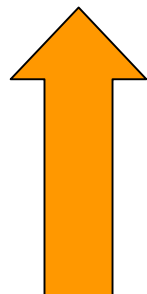


- ・4本の川がつくる**複合扇状地**
- ・三方を山に囲まれた**盆地**
- ・2本の**活断層**(渋沢断層、秦野断層)
- ・**秦野盆地湧水群**は全国名水100選

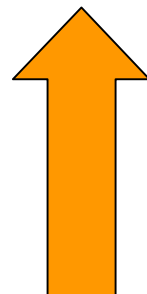
目指すもの

災害時の水の確保

地図づくり



人づくり



- ①湧水、井戸の現状把握
- ②災害時の協力依頼
- ③地図の作成

ここがチャレンジ！

- ・水質の保全
- ・必要性の普及活動

地図づくり



呼び掛け

(中学校、高校、地域、連携団体、市役所等)

災害時協力井戸・湧水・水場 発見隊の結成

事前調査

- ・情報収集(主に聞き取り調査による)
- ・湧水地見学会
- ・井戸・湧水所有者に協力依頼事前通知(秦野市)

本調査準備

- ・回答がきた119件のリスト作成→地図に落とす
- ・ルート確認
- ・道案内や車の手配
- ・調査人数の確認

本調査

- ・井戸・湧水の状況調査 119件訪問(協力は108件)
- ・協力依頼

図化

災害時協力井戸・湧水MAP作成

災害時協力井戸・湧水のマップ、リーフレット作り

連携・協働

活動を踏まえ

地域の利を活かした

健全者も障害者も災害時に活用できるようなマップ

井戸・湧水 発見隊
行政
連携12団体
秦野市立西中学校

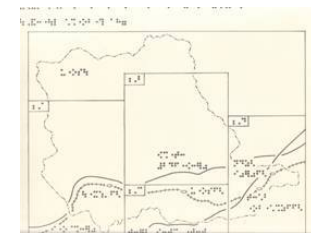
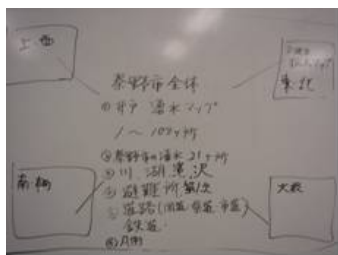
講演会
講習会
ワークショップ
フィールドワーク

編集会議
1~4回/月

マップ
リーフレット

点字マップ
手話録画DVD

(観音開き折)



調査内容

現状

- ①湧水 約50か所
- ②井戸
H9年 秦野市全体243件中
173件協力井戸として登録
(条例で井戸設置を禁止)
- H10年 119件登録
- H22年 108件登録

調査内容

- ①型式 電動ポンプ式(停電時可・停電時不可)
手動ポンプ、汲み上げ式
- ②水勢 良好、少量、枯渇、不明
- ③状況 1 生活用水 2 飲料水と生活用水 3 使用していない
- ④協力 ● ▲ ×
- ⑤位置の確認と写真撮影

調査方法

- ①秦野市から調査依頼を郵送
- ②協力者一覧表の作成(秦野市)
- ③地図におとし
- ④日程調整
- ⑤中学生ボランティアと一緒に
所有者又は管理者宅へ訪問
- ⑥位置確認と写真撮影
- ⑦地図に位置と写真貼付

協力井戸、湧水とは、
大規模な災害が発生し、水道の給水が停止した場合に、近隣の被災者へ飲料水以外の生活用水(洗濯やトイレなどの水)を提供いただける井戸として、登録された井戸をいいます。
災害時には提供者の善意により、自主的に井戸又は湧水の提供を行っていただくものです

地域の水環境と保全活動

もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP

災害時の水不足を解消し、被災者の命と財産を守るために、地域の水源を調査し、災害時の協力井戸・湧水を調査・登録し、地域住民に提供することを目的としています。

調査対象：地域の水源（井戸・湧水）

調査内容：水源の種類、位置、水量、水質、利用状況、災害時の利用可能性など。

調査方法：現地調査、住民アンケート、GIS（地理情報システム）による位置情報管理など。

調査結果：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の活用：災害時の協力井戸・湧水MAPを基に、災害時の水供給計画を策定し、被災者の命と財産を守るために活用します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

調査結果の活用：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP

元来の水が豊富で湧き出る水場で、災害時に活用できる地域づくりを推進します。

大切な人と暮らしを守るために、日頃の調査を怠りません。

調査結果の活用：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

調査結果の活用：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

湧水箇所、水場を現況把握した防災マップ

井戸・湧水の写真と災害時協力井戸利用方法

登録していたが良書協力井戸・湧水！08

災害時の水不足を解消し、被災者の命と財産を守るために、地域の水源を調査し、災害時の協力井戸・湧水を調査・登録し、地域住民に提供することを目的としています。

調査対象：地域の水源（井戸・湧水）

調査内容：水源の種類、位置、水量、水質、利用状況、災害時の利用可能性など。

調査方法：現地調査、住民アンケート、GIS（地理情報システム）による位置情報管理など。

調査結果：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の活用：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを基に、災害時の水供給計画を策定し、被災者の命と財産を守るために活用します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP

元来の水が豊富で湧き出る水場で、災害時に活用できる地域づくりを推進します。

大切な人と暮らしを守るために、日頃の調査を怠りません。

調査結果の活用：調査結果を基に、災害時の協力井戸・湧水MAPを作成し、地域住民に提供します。

調査結果の公表：調査結果を公表し、地域住民に提供し、災害時の協力井戸・湧水の位置や利用方法を把握できるようにします。

調査結果の更新：調査結果を定期的に更新し、最新の情報を提供できるようにします。

井戸湧水を表示した地図（地域用）岡山県立岡山一宮高等学校2年生成成



手話通訳
録音

防災教材作成

点字



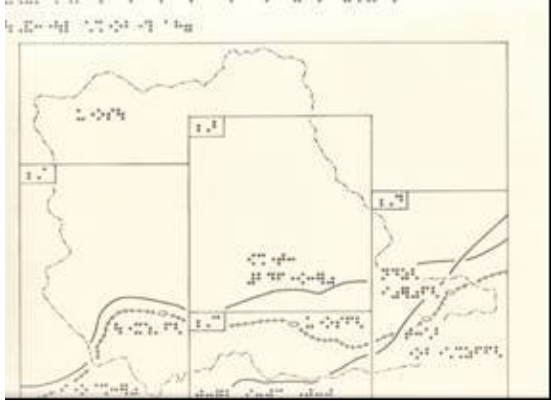
もしもの時の災害時井戸・湧水
リーフレット

災害時井戸・湧水MAP触地図

防災講演会の手話録音
得意技生かし防災力を高めよう
和が街をもっと素敵なおとくに
中川 和之氏



視覚障害者と晴眼者が一緒に
現況調査をしたマップを触地図に



障害を持つ方の教材が少ないと聞き、作成しました。

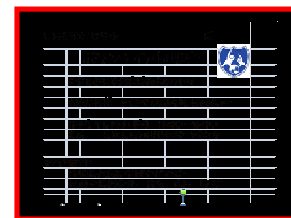
人づくり

- 6/13 防災講習会「家庭での生活用水の確保」
実習「川の水を利用してビニール袋炊飯」
- 7/3 地域の水場探しと水場清掃活動
- 7/23 水源地探検「調べてみよう秦野の水」河川・水場清掃活動
- 8/21,22

ジャスコ秦野店にて防災や水に対する意識調査と啓発活動
実習「お風呂の水を利用してビニール袋でご飯を炊こう」などに

中学生、高校生防災ボランティア80名と市民3,620人参加

防災に興味・関心をもってもらえた



ボランティアカードの発行

氏名	性別	年齢	住所	連絡先
田中 太郎	男	15	神奈川県秦野市	045-123-4567
山田 花子	女	16	神奈川県秦野市	045-234-5678
鈴木 一郎	男	17	神奈川県秦野市	045-345-6789
佐藤 美咲	女	18	神奈川県秦野市	045-456-7890
高橋 健太	男	19	神奈川県秦野市	045-567-8901
清水 由香	女	20	神奈川県秦野市	045-678-9012
石川 大輔	男	21	神奈川県秦野市	045-789-0123
渡辺 真由	女	22	神奈川県秦野市	045-890-1234
小林 拓也	男	23	神奈川県秦野市	045-901-2345
山崎 結衣	女	24	神奈川県秦野市	045-012-3456

参加者名簿



湧水場所清掃活動



月1回の清掃活動



8/21,22ジャスコ秦野店 意識調査とPR
お風呂の水を使ってビニール袋炊飯講習



6/13小田原マロニエでの
川の水を使ってビニール袋炊飯講習



11/23講演会「地下水利用現状と災害時
利用の可能性」受付



7/23水源地探検



7/3地域の水場探しと水場清掃活動

僕たちがやったこと

- ・ 災害時協力井戸・湧水・水場 発見隊のリーダーとして
- ・ 情報収集、意識調査、協力依頼PR活動(ジャスコ、講演会)
- ・ 非常時に使用可能な井戸・湧水の状況調査
- ・ もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP作成
- ・ フィールドワーク水源地探検
- ・ 河川・湧水清掃活動
- ・ 意識調査の集計



1/15 防災講演会 展示



浄水場見学会



防災講演会受付



非常時に使用可能な井戸・湧水の状況調査



もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP作成

フィールドワークの様



12/8 井戸・湧水視察

(室川源流、震生湖、湧水・井戸の活用状況)



11/18 室川源流・湧水探しと水場清掃



湧水地の見学会



浄水場の見学会

災害時に必要な水についての意識調査と協力依頼PR活動

場所

ジャスコ秦野店(7日間)
小田原マロニエ(2日間)
市民の日
文化会館
公民館



小田原マロニエ



公民館



運動公園



ジャスコ秦野店



秦野市文化会館



市民の日



ジャスコ秦野店



小田原マロニエ

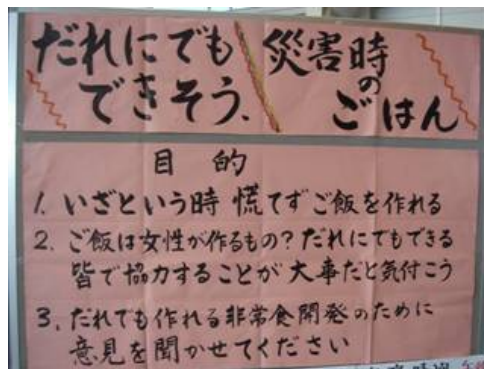


ジャスコ秦野店

講習会 川の水を使ってビニール袋でご飯を炊こう ペットボトルで浄水器を作ろう



11/3 市民の日



小田原マロニエ



小田原マロニエ



ジャスコ秦野店



小田原マロニエ



ジャスコ秦野店

防災講演会



H22年11月23日(火)62名参加

「地下水利用の現状と災害時利用の可能性」



手話通訳付き

秦野市、秦野市危険物安全協会との共催

H23年1月15日(土) 340名参加

テーマ「得意技活かし防災力を高めよう」

自主防災事例発表,防災劇

「倒壊家屋からの救出救助～隣近所の助け合い～」

なでしこの防災啓発活動展示

「災害時協力井戸・湧水マップ」の紹介と意見聴衆

点字マップ・点字防災資料の紹介

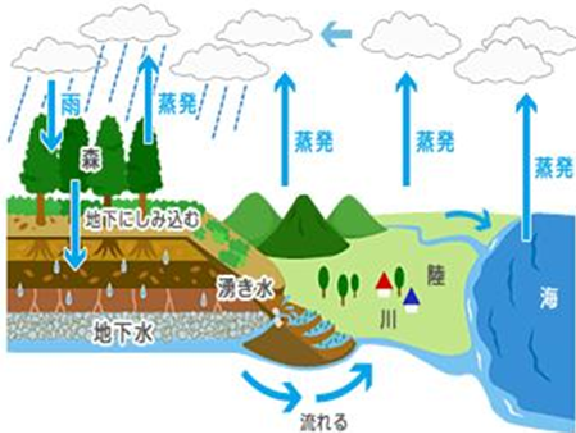
防災用品の展示と説明

災害時協力井戸・湧水マップ
500部 配付
点字マップ 紹介
予約受付

参加者から
感想や意見収集

登録件数が少ない自治会が「水」対策を
真剣に協議検討。災害時の生活用水の確保
について地域が本格的に取り組みはじめた
ことは予想以上の展開

保全活動



水を育む森を守る

地域・中学生・高校生・障害者と月1回
河川・湧水・震生湖 などの清掃活動
と勉強会の実施



河川・湧水清掃活動



防災講習会の中に下記の内容を組み入れて

- 1、水の安全を守る ⇒ 水の品質と安全を守り続ける
- 2、みずを大切に ⇒ 限りある水資源
- 3、森を守り水を育む ⇒ 水は森の地面にしみこみ長い時間をかけて地下水とる。
おいしい水は、森がなければ生まれない。
森を守る活動を行っていかなくてははいけない。
すばらしい自然と、水を育む森を守るための水源涵養活動
- 4、水の大切さを伝える ⇒ 子どもたちに森と水の大切さを伝える
自然の中で行う水育「森と水の学校」・

中学生の感想

- ・ 参加のきっかけ
- ・ 印象に残っている活動
- ・ 続けて参加した理由
- ・ 感想

最後まで協力してくれた中学生6人が感想を一言ずつ発表します。

苦勞した点、工夫した点

1. 個人所有の井戸の調査と協力依頼

→ 秦野市から調査で訪問する旨の通知を事前に郵送してもらい、訪問先でも警戒されずスムーズに調査を行うことができた。

2. 調査の資金(特に交通費)

→ 参加人数が多かったため
徒歩で調査が出来る範囲のルートで回るよう工夫した。

3. 地図の表現

→ GIS処理を岡山一宮高校にお願いした。

→ 井戸の場所の表記を3段階に分けた。(個人情報対策)

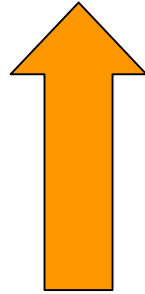
他団体、地域との連携

- ◆ 不足する力を補い合う「お互いさま関係」
自分たちでは出来ないような活動も可能にするパワーになった。
- ◆ ボランティアカードの発行
発行：はだの市民活動団体連絡協議会
渡し方：学校を通して担任から生徒に渡してもらった。
学校も生徒の活動の様子がわかり、
学校側からの協力も得られた。
- ◆ 郵便局OBのアドバイス
市内に点在する井戸を効率よく回れるルートをアドバイスしてもらった。

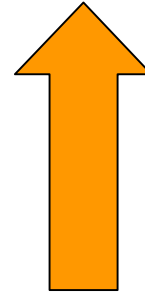
成果

災害時の水の確保

地図づくり



人づくり



- ① 湧水、井戸の現状把握
- ② 災害時の協力依頼
- ③ 地図の作成

ここがチャレンジ！

- ・水質の保全
- ・必要性の普及活動

成果(人づくり)

- ◆ 災害時協力井戸の登録件数が少ない幾つかの自治会が「水」対策を真剣に協議検討するようになった。
- ◆ 中高生80名が活動に参加。(市民は3620名)
(水に対する意識調査、見学会、井戸・湧水現地訪問調査)
そのうちの6名が最終報告会まで協力。
防災・減災に取り組んでもらえる後継者づくり
- ◆ 協力者も増え、地域への理解も深まり、
防災教育のみならず、環境教育にもつながった。

今後の活動

◆活動の継続

「災害時協力井戸湧水の家」の看板設置運動
保全活動、防災意識の普及啓発活動

◆完成したマップの活用

次年度以降の出前講座などの行事開催時に利用する。
市や他団体に活用依頼をする。
市内外へPRして、防災意識の啓発、家庭での備えなどに
結びつけていく。

地域や行政、学校、専門家とのつながりを大切にして活動を
を広げていく。

秦野市や連携団体、地域の協力のおかげで円滑に事業を遂行することができました。ありがとうございました。

ご静聴ありがとうございました。